

ELPA

**取扱説明書
保証書付**

TBC-1010S
セキュリティカメラ モニターセット

TBC-M10
セキュリティモニター



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめください。
- 本機仕様およびアプリケーションの内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

目次

安全上の注意	2
無線電波についての注意	4
ご使用上の注意	5
製品概要 / 製品構成	6
各部名称	8
準備	10
はじめてご使用になるとき（初期設定）	14
設置	18
各種設定（モニター設定）	21
システム設定	22
一般設定	24
カメラ設定	25
ネットワーク（インターネットにつなげる）	27
ストレージ設定	29
出荷時設定	29
カメラを増設する（カメラの追加）	30
暗視モードを変更する（カラー/モノクロ/センサーライト）	32
PTZコントロール	33
録画映像を見る（ビデオ再生モード）	34
録画映像を見る（スマート再生モード）	35
録画映像をダウンロードする	36
スマートフォンからカメラ映像を見る	37
複数のスマートフォンで映像を見る（共有）	41
EseeCloud アイコン説明	45
困ったとき	49
製品仕様	50
カメラ位置決め用紙	53

安全上の注意

■ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しております。

■ 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



-  液漏れしたり、煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントからACアダプターを抜いてください。そのまま使用すると、発熱・火災・感電または製品の誤作動・故障の原因になります。
-  万一、異物が本製品の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  万一、本製品を落したり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  本製品を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また重いものを乗せたり、加熱したり（熱器具に近付けたり）引っ張ったりしないでください。発熱・火災・感電の原因になります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に相談してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
-  電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
-  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
-  コンセントに差したままACアダプターのDCプラグに触れたり、物を接触させたりしないでください。火災・感電の原因になります。
-  めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
-  液晶モニターに水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、液晶モニターそばに薬品や水などの入った花瓶、容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、発熱・火災・感電の原因になります。また、雨天、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。ペットなどの生物が本製品の上に乗らないようにしてください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因になります。



本製品やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、本製品の内部には触れないでください。火災・感電の原因になります。



表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因になります。



本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。火災の原因になります。



動作環境範囲外で本製品をご使用にならないでください。範囲外の温度や湿度の環境でご使用になると、発熱・火災・感電または製品の誤動作・故障の原因になります。



金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。



本製品内部の液体などが付着したときは、こすらずにきれいな水で洗ってください。目に入った場合は、直ちに医師の診断を受けてください。



火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度の高いところに置かないで下さい。発熱・火災・感電の原因になることがあります。



ねじなどの小物類は、乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。誤って飲み込むおそれがあります。万一口み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意



コードを接続した状態で移動しないでください。接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。



本製品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因になることがあります。



長時間、本製品をご使用にならない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

無線電波についての注意

本機の無線電波の周波数帯は2.4GHz/5.6GHzです。2.4GHz帯を利用する場合、同じ周波数帯を利用するBluetooth機器や電子レンジ、コードレス電話、スマートフォンを使用すると、機器同士の干渉が起き、通信速度の低下や通信が途切れたりする場合があります。

5.6GHz帯の場合、2.4GHz帯と比べると、利用機器が少ないため干渉は起こりにくく、映像の遅延が少ないのが利点ですが、壁や天井などの障害物に弱く、通信が不安定になる場合があります。5.6GHzの使用が不安定な場合は、2.4GHzに切り替えることをお勧めします。

※5.6GHzは上空での使用は電波法で禁止されています。

電波の到達距離について



見通し（カメラとモニターの間に障害物がない状態）で300mとなります。ただし、次のような場合には電波が届きにくくなります。

- ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
- ・カメラとモニターが別の階層や別の建物にある場合
- ・カメラとモニターの間に次のような障害物がある場合（外壁、金属製の扉や雨戸、トタンなどの金属製の外壁材、金属箔が含まれる断熱材、金属製の家具など）

このため、通信距離は一般の木造家屋では10～40mが目安です。

ご使用上の注意

- 本製品の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮した上で行ってください。
 - 本製品は、一般家庭や小規模事業者での使用を目的として設計されています。
 - 設置されているネットワークの状態や接続されている機器の状態により、映像や音声途切れたり、動体検知アラーム機能が反応しない場合があります。どの様な状態であっても動作を 100% 保証するものではありません。
 - 本製品は、規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で使わないでください。正常に作動しない場合があります。
-
- 弊社はいかなる場合においても以下に関する経済的、時間的、精神的等、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・本製品の動作状態（正常・異常）にかかわらず、犯罪・事故等が発生した場合の損害
 - ・本製品の設置（取り付け・取り外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害
 - ・本製品の初期不良交換および、交換工事に伴う費用やお客様が被る損失
 - ・お客様ご自身、または権限のない第三者が本製品を分解・修理・改造等を行ったことにより生じた損害
 - ・地震・雷・風水害・雪害などの自然災害、または弊社の責任によらない火災、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・第三者による行為、その他異常な条件下での使用により生じた損害
 - ・本製品の映像や記録された映像が何らかの理由により公となり、または記録目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ・本製品を使用中に関連機器の故障やメモリー内容の消去等が発生した場合の損害
-
- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。海外ではご使用いただけません。
 - カメラ、モニターそれぞれ AC100V の電源接続が必要です。
 - 本製品にスマートフォン・タブレット・microSD カードは付属していません。
 - 本製品はハードディスクを標準装備していません。
 - お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
 - 商品改良のため、使用、外観は予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

製品概要

インターネット不要

インターネットの環境やスマートフォンが無くても、使用可能です。

簡単設定

カメラと10インチモニターはペアリング済で、電源を入れるだけで、すぐにカメラ映像を見ることができます。

カメラ最大10台接続

10インチモニターには最大10台のカメラを接続できます。

無線通信距離最大300m（見通し距離）

見通し距離とは、カメラとモニターの間に壁などの障害物や電波干渉がない状態を言います。実際の環境により、ご利用できる距離は短くなります。

防塵防水規格IP66

カメラは気密性に優れており、屋外、屋内どちらにも設置が可能です。

夜間撮影対応

スマートナイトビジョン対応で、暗くなると自動で赤外線LEDが働き、モノクロ映像になります。また、夜間に動体を検知し、センサーライトが点くと、モノクロ映像からカラー映像に切り替わります。

動体検知で威嚇、録画、通知

動体検知に反応するとライトの点灯/点滅、録画、通知を行うことができます。

「AI」による人型検知

木の葉の動きなどで通知がたくさん来てしまう・・・を解消。
「人」と認識されたものだけ検知、通知します。

大画面で映像がよく見える

10インチの大画面でストレスのない映像確認が可能です。

別売りmicroSDカード

10インチモニターにmicroSDカードを挿入。最大512GB対応。512GBのmicroSDカードを挿入した場合、カメラ1台につき、約40日間の録画が可能です。※1

別売りハードディスクにも対応

最大2TBのハードディスク対応でカメラ1台で約160日間、カメラ10台で約16日間録画可能です。※1 ※1 常時録画の場合

スマートフォン・タブレット対応

モニターをインターネットWi-Fiにつなぐと、外出先でもスマートフォンやタブレットで確認可能です。

製品構成

モニター付属品



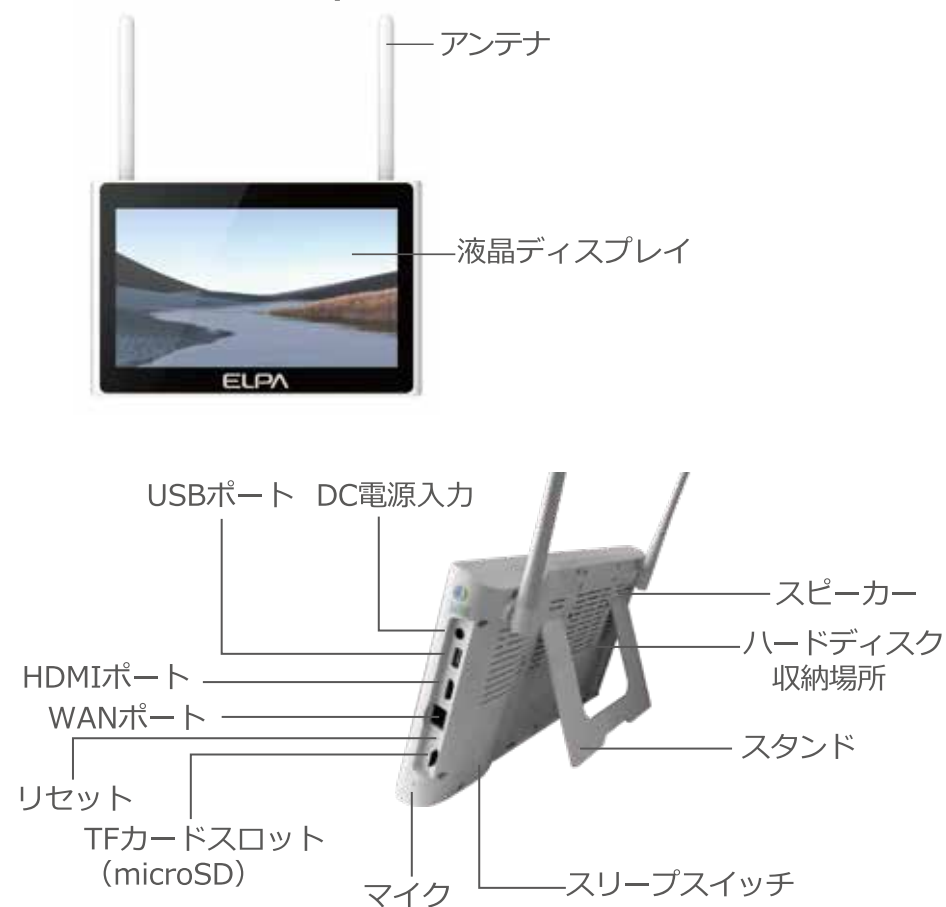
カメラ付属品



※ microSD カード、ハードディスク、工具は同梱されていません。

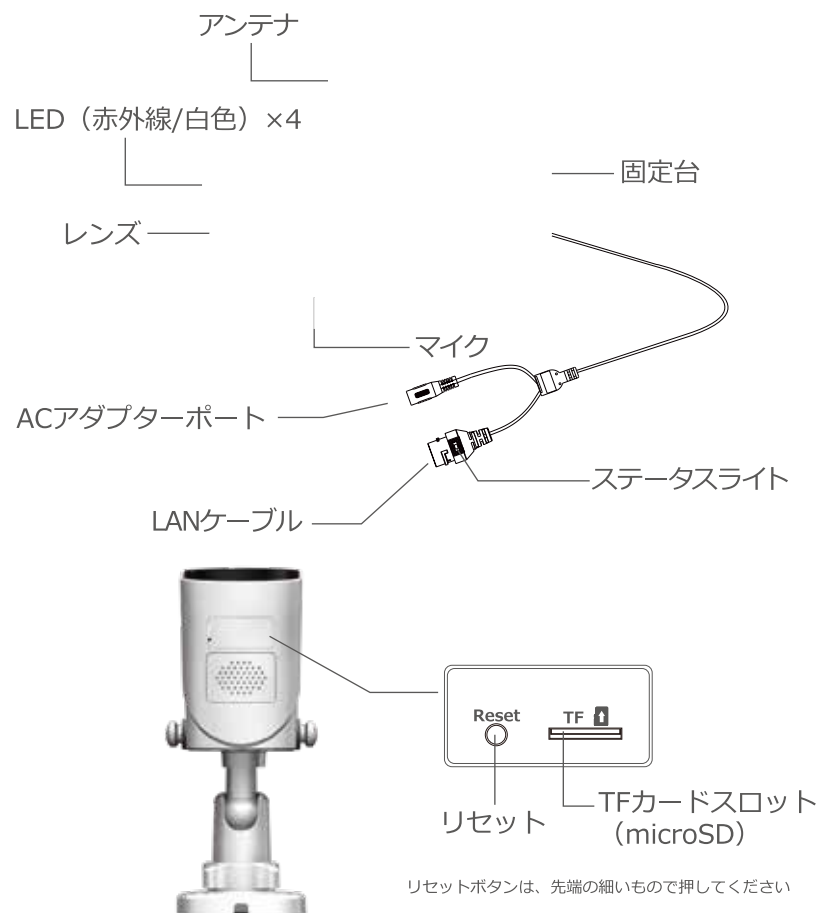
各部名称

● 10インチモニター (TBC-M10)



各部名称

● IPカメラ (TBC-SC300)



ステータスライト

- ・点灯：正常
- ・点灯なし：接続していないまたは 機器異常
- ・速く点滅：ネットワーク接続待機中
- ・ゆっくり点滅：モニターと接続されていますが、ネットワークが接続されていません。

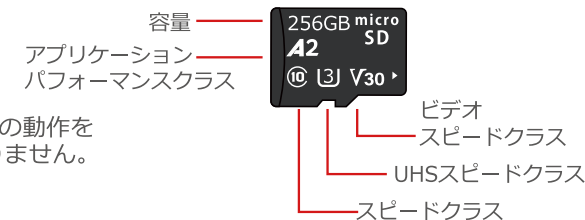
準備

1. microSDカードの準備

microSDカードの選び方

- ☐ 最大256GB (モニター)
- ☐ 推奨 **⑩ ⑬ V30 A2**
最低でも **⑩** (スピードクラス10) と記載のあるものをご準備ください。
- ☐ 常時録画の場合は、**V30** (ビデオスピードクラス30) をご準備ください。

※全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。



お取替え時期

- ☐ microSDカードは消耗品です。1～2年を目安に交換をお勧めします。
- ☐ 寿命については記録メディアの各メーカーにお問い合わせください。
- ☐ microSDカードは、1～2ヶ月を目安に定期的にフォーマットをしてください。モニター内でフォーマット可能です。

録画容量目安

FPS	解像度	microSDカード容量	128GB			
15	300万画素	カメラ設置台数	1台	2台	3台	4台
		録画時間	256時間	128時間	85時間	64時間
FPS	解像度	microSDカード容量	256GB			
15	300万画素	カメラ設置台数	1台	2台	3台	4台
		録画時間	512時間	256時間	170時間	128時間
FPS	解像度	microSDカード容量	512GB			
15	300万画素	カメラ設置台数	1台	2台	3台	4台
		録画時間	1024時間	512時間	341時間	256時間

- ※ 状況によって、録画容量が変わりますので、目安としてご活用ください。
- ※ 実際に使用できる容量は、システム領域の割り当てのため、表記の容量より少なくなります。
- ※ プレビュー時に解像度を変えても、録画データの解像度は変わりません。

準備

2. ハードディスクの準備

対応するハードディスク

- ☐ 最大2TB HDD / 2TB SSD
- ☐ SATA 2.5インチ

録画容量目安

FPS	解像度	ハードディスク容量	1TB			
15	300万画素	カメラ設置台数	1台	2台	5台	10台
		録画時間(約)	82日	41日	16日	8日
FPS	解像度	ハードディスク容量	2TB			
15	300万画素	カメラ設置台数	1台	2台	5台	10台
		録画時間(約)	164日	82日	33日	16日

- ※ 状況によって、録画容量が変わりますので、目安としてご活用ください。
- ※ 実際に使用できる容量は、システム領域の割り当てのため、表記の容量より少なくなります。
- ※ モニタリング時に解像度を変えても、録画データの解像度は変わりません。

準備

3. カメラの準備

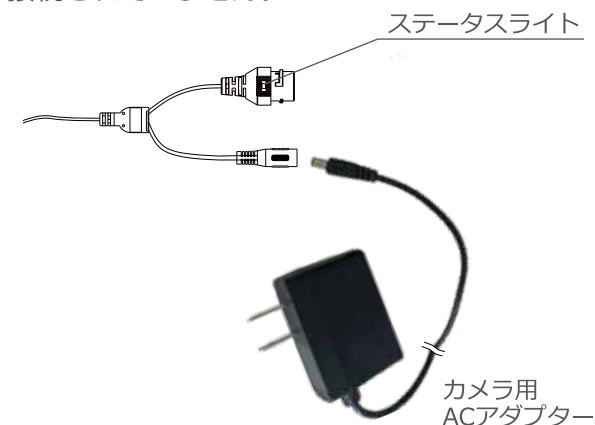
- ①カメラ用のACアダプターをカメラのACアダプターポートに差し込みます。確実に差し込んでください。

- ※ ACアダプターは、必ず本製品に付属の専用ACアダプターをご使用ください。
- ※ ACアダプターは、防水仕様ではございません。水にぬれない場所でご使用ください。
- ※ ACアダプターとカメラACアダプターポートの接続部分は、防水仕様ではありません。水にぬれない場所での利用または自己融着テープ（ブチルテープ）で防水処理を施してください。



- ②通電状態になるとステータスライトが点灯します。

- ・点灯：正常
- ・点灯なし：接続していない または 機器異常
- ・激しく点滅：ネットワーク接続待機中
- ・ゆっくり点滅：モニターと接続されていますが、ネットワークが接続されていません。



4. モニターの準備

- ①モニター画面の保護フィルムをはがしてください。
- ②microSDカードを挿入またはハードディスクを接続します。
- ③モニター用のACアダプターをモニターのACアダプターポートに差し込みます。

※ ACアダプターは、必ず本製品に付属の専用ACアダプターをご使用ください。

※ モニター、ACアダプターは、防水仕様ではございません。水にぬれない場所でご使用ください。

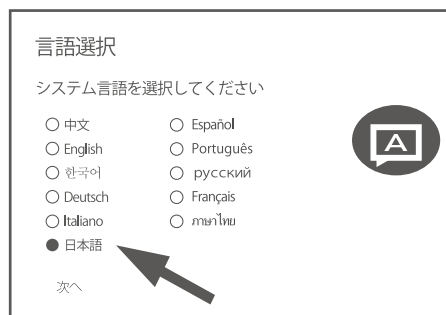


5. カメラを取付ける前に

- ①はじめてモニターを使用する場合は、初期設定が必要です。
(次ページ参照)
- ②モニターにカメラ映像が映ることを確認します。
 - ・カメラ接続のないチャンネルは、**NVR** と表示されます。
 - ・接続ができている場合は、カメラのステータスライトが点灯します。
- ③映像が映らない場合は、再度カメラの追加（ペアリング）を行ってください。（30ページ参照）
- ④カメラおよびモニターを実際の設置場所に移動させ、映像が映るか再度確認します。
- ⑤電波が弱いようであれば、オートリピーター機能をお試しください。（28ページ参照）
- ⑥映像がしっかりと映ることを確認してからカメラを取付けます。
 - ・電源を抜いてもペアリングは解除されません。

初期設定

はじめてご利用の際は、電源を入れると設定画面になりますので、以下の手順にて初期設定を完了させてください。



言語

言語を選択し、[次へ]。

ネットワーク設定

<Wi-Fi につながらない場合>

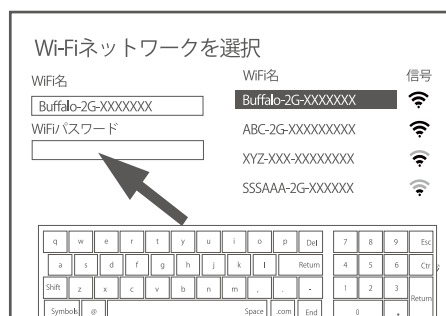
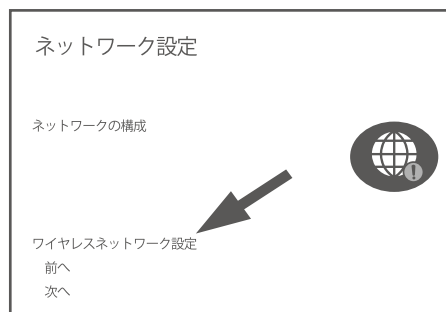
何も入力せず、[次へ]。

<Wi-Fi につながり場合>

①[ワイヤレスネットワーク設定] をクリック。

②しばらくすると、WiFi 名が表示されますので、使用する Wi-Fi をクリック。

③WiFi パスワード（暗号化キーや PASSKEY と表記）を入力し [接続] をクリック。



ルーターの一例	
製品名	〇〇〇〇
製造番号	XXXXXXXXXX
入力	12V 0.7A
MAC アドレス	WAN XX:XX:XX:XX:XX:XX
ネットワーク名 (SSID)	Web PW XXXXX
プライマリ SSID(2.4GHz)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX-g
プライマリ SSID(5GHz)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX-a
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

こちらを「WiFi パスワード」に入力。

④60 秒ほどで、接続状態を示すメッセージが表示されます。
(次ページ参照)

[接続] ボタンはキーボードに隠れています。入力の最後に Return キーをクリックし、入力を完了させます。Return キーでキーボードが消えます。

はじめてご使用になるとき

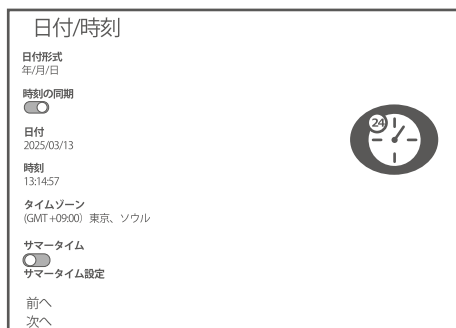


＜Wi-Fi につなぐ場合＞ つづき
ネットワークの診断が行われ、
メッセージが表示されます。

正常な場合
➡ [次へ]



異常な場合
➡ [ワイヤレスネットワーク設定]
再度、Wi-Fi 名やパスワードを
確認します。
後から修正可能です。



日付 / 時刻

＜Wi-Fi につなぐ場合＞

- ① [時刻の同期] を ON にします。
- ② タイムゾーンを選択します。
(+09 : 00 東京、ソウル)
- 時刻修正の必要はありません。
- ③ [次へ]

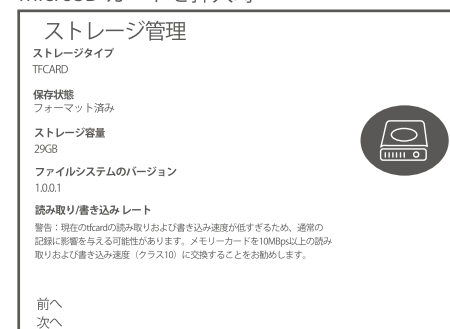
＜Wi-Fi につながない場合＞

- ① [時刻の同期] を OFF にします。
- ② [日付] [時刻] を選択し、修正し
ます。
- ③ [保存する]
- ④ [次へ]

※ 1 ヶ月に 1 回程度、時刻のズレを修正し
てください。(精度 : ± 1 ~ 2 分 / 1 ヶ月)

はじめてご使用になるとき

microSD カードを挿入時

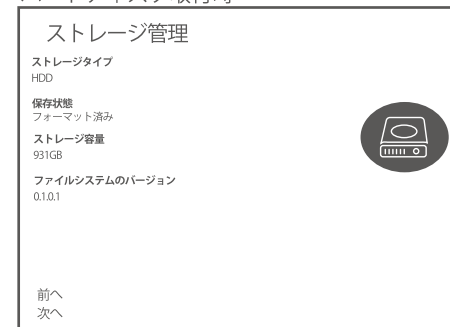


ストレージ管理

しばらくすると、ストレージの
状態が表示されます。

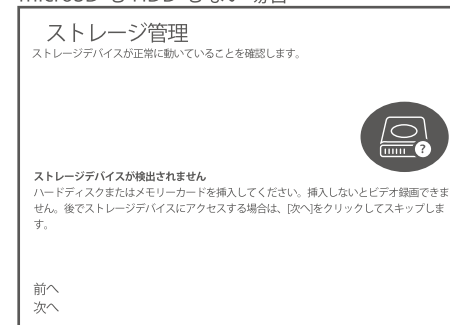
microSD カードは消耗品です。
劣化により、読み取り / 書き込み
が遅くなったり、故障の原因にな
る可能性があります。定期的な
フォーマットおよび定期的な買い
替えをお願いします。
(10 ページ参照)

ハードディスク取付時



TFCARD : microSD カード
HDD: ハードディスクドライブ

microSD も HDD もない場合



はじめてご使用になるとき

カメラのライブ画面を表示

ペアリング済みのカメラの電源を入れたと、自動的に接続され、カメラ映像が右側に映ります。



前へ
次へ

NVR カメラが追加されていないチャンネル



カメラは追加されているが、カメラの電源が入っていない、または、カメラの通信状況が悪い

パスワードの設定

パスワード6～19文字

モバイルアプリケーションでこの設定をバインドする場合は、このパスワードを入力する必要があります。

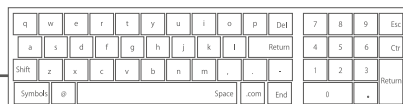
ユーザー名

admin

パスワード

パスワードの確認

☐パスワード保存



アプリのダウンロード

1. 左側のQRコード (APP) をスキャンし、アプリをダウンロードしたのち、アカウントを登録します。

APP

P2P ID

2. アプリから、P2P IDのQRコードを読み取り、このデバイス (NVR) を追加します。外出先でもカメラをモニタリングし、警報通知を受け取ることができます。



前へ
完了

カメラのライブ画面を表示

カメラの追加 (ペアリング) が済んでいるものが表示されます。

パスワードの設定

- ① [パスワード] に任意のパスワードを入力します。
- ② [パスワードの確認] に、もう一度パスワードを入力します。
- ③ パスワードを保存する場合は、[パスワード保存] にチェックを入れます。
- ④ Return をクリックし、次へ

※パスワードは6～19文字です。

アプリのダウンロード

スマートフォンやタブレットでモニタリングする場合は、**無料アプリ**のダウンロード、アカウント登録が必要となります。(37 ページ参照)

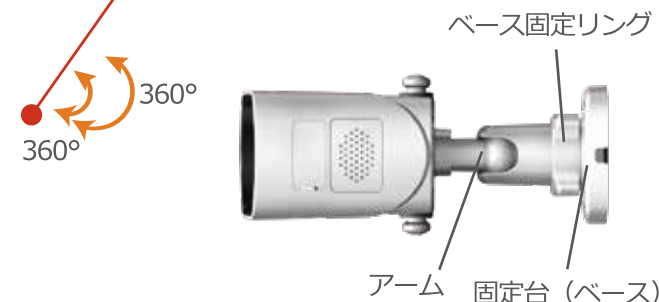
※ 後から操作可能です。

設置 (カメラ)

1. カメラの可動範囲

設置場所によっては、カメラの角度・方向が制限されますので、設置前に必ずご確認ください。

アームの付け根 (関節) は球体になっています。球体は360°回転します。穴が開いている方向にカメラを90°傾けることができます。

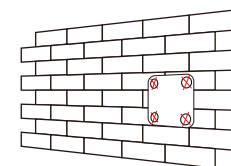


2. カメラの設置

カメラの設置を行う前に、映像および受信確認を行ってください。

①カメラを設置する場所を決めます。

- ・取付ける場所に「カメラ設置位置決め用紙」を貼ります。
- ・「カメラ設置位置決め用紙」は本書の最後のページを切り取ってお使いください。
- ・カメラ設置位置決め用紙を利用して、ネジやアンカーの位置に印をつけ、小さく下穴を空けます。



②カメラを取付けます。

- ・ドライバーで留めます。

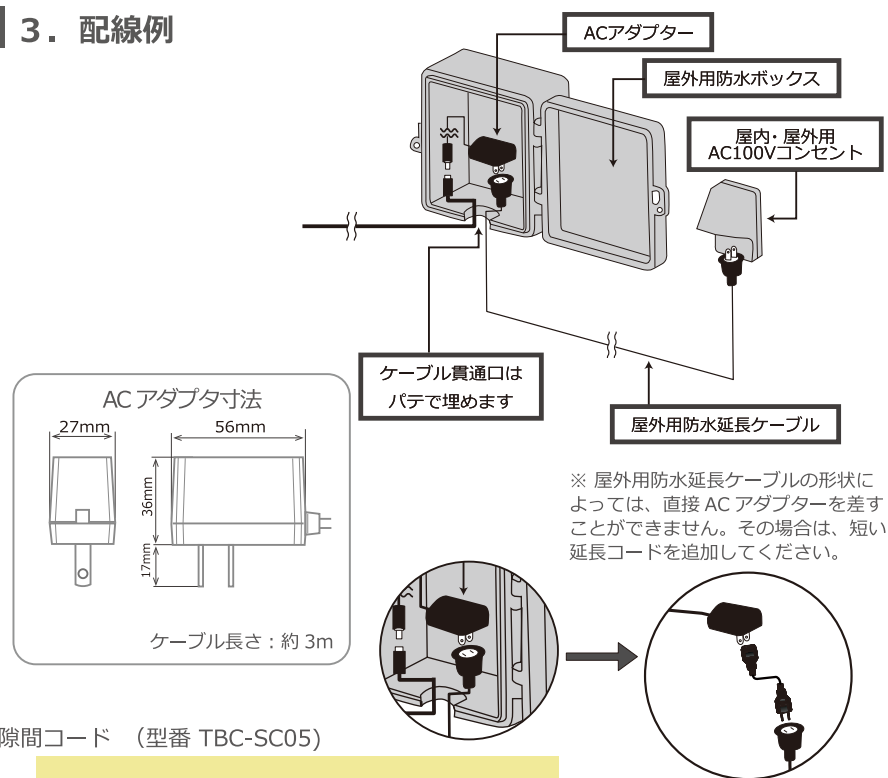
③ACアダプターを接続し、カメラの角度をモニターの映像を見ながら調整してください。角度調整はドライバーなどの工具不要です。

④ベース固定リングを確実に締めたら、設置完了です。

※ 高所での作業は十分にご注意ください。

設置（カメラ）

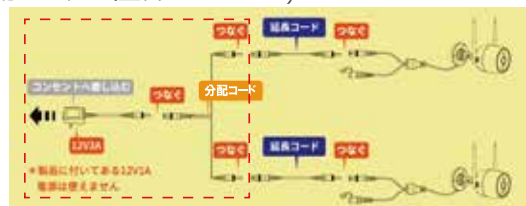
3. 配線例



延長コード（型番 TBC-EC5）



分配コード（型番 TBC-BC21）



設置（モニター）

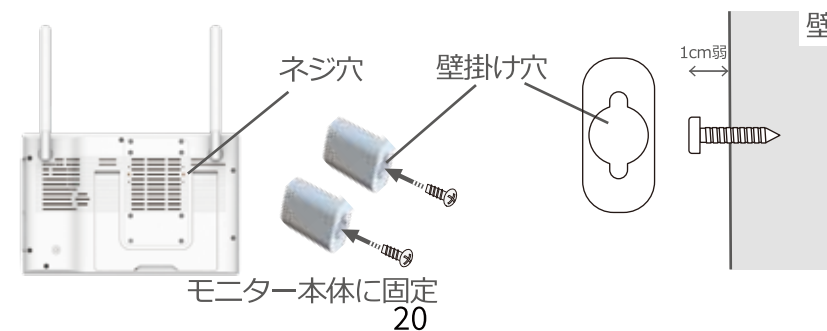
1. モニターの設置

モニターは、スタンドを使う方法以外に壁掛けに対応しています。ただし、以下の点にご注意ください。

- ・約900gのモニターです。
- ・取り付け前に、取り付け場所の壁が十分に耐荷重を持っていることを確認してください。
- ・モニターを落下させないように慎重に行ってください。



- ①モニター裏のネジ穴に壁掛け用パーツをネジ(小)で固定します。
 - ・パーツには小さな突起があります。突起はネジ穴の上下の穴に合わせます。
- ②モニターを設置する場所を決めます。
 - ・設置場所に「モニター壁掛け位置決めシール」を貼ります。
 - ・位置決めシールを利用して、ネジやアンカーの位置に印をつけ、小さく下穴を開けます。
- ③下穴にネジを打ちます。
 - ・すべて打ち込まずに、壁からネジを1cm弱残します。
- ④③のネジにモニターの壁掛け穴の凹み部分を合わせ固定します。



各種設定（モニター操作）



	ウェイクアップ	スリープモードからの復帰（バッテリー式カメラ）
	警報器	カメラの警報器（任意のタイミングで鳴らせます）
	ビデオ再生	録画した映像の再生、ダウンロード
	カメラの追加	カメラの追加（カメラとモニターのペアリング）
	スクリーン	画面分割（1、4、6、8、9、10）
	システム設定	すべての設定（次ページ参照）
	音量	モニターのスピーカー音量
	ネットワーク設定	Wi-Fi設定、リピーター設定など
	QRコードの表示	アプリのダウンロード用QRコード、P2P ID用QRコード
	Wi-Fi電波強度	電波強度
	スリープモード	スリープモード中（バッテリー式カメラ）
	常時録画中	常時録画中（カスタマイズでブルーのマスにした場合）
	検知録画中	動体を検知し録画中
	PIR	PIR（人感センサー）が検知したときに表示
	AI検出（人）	人を検出したときに表示、表示は最後の検知から10秒間
	スピーカー	スピーカーがONのとき表示

システム設定

システム設定

一般設定	カメラ設定	日付/時刻
ネットワーク	デバイス診断	ストレージ設定
アカウント/APP	ヘルプとサポート	出荷時設定

一般設定
言語、ディスプレイ解像度、音声出力、モニターアップグレードなど

カメラ設定
カメラの追加、録画モード、検知設定、カメラアップグレードなど

日付/時刻
日付、時刻設定

ネットワーク
ネットワーク（有線/無線）、リピーター（中継）など

デバイス診断
カメラ診断/デバイス（モニター）診断

ストレージ設定
microSDカード、ハードディスクの使用容量の確認など

アカウント/APP
P2P ID、アプリダウンロード用

ヘルプとサポート
日本語未対応

出荷時設定
工場出荷時の設定

システム設定

一般設定

- 言語（日本語 / English / 簡体中文 など）
- ディスプレイ解像度（1024×600）
- 音声出力方式（HDMI / Speaker / HDMI+Speaker / OFF）
- 音量
- NVR警報音
- 自動ロック（OFF / 30秒 / 1分 / 5分 / 10分）
- ファームウェアのアップグレード

カメラ設定

- カメラの追加
- カメラのファームウェアのアップグレード
- 録画モード
 - 常時録画
 - イベント録画
 - カスタマイズ（録画スケジュール設定）
- 検知警報
 - 検出範囲
 - 感度
 - AI検出
 - フレームスイッチ
- 音声アラーム
- スポットライト警報
- アラームプッシュ通知（APP / Email）
- アラーム期間
 - 検出期間設定（終日検知 / 昼のみ検出 / 夜間のみ検出 / カスタム）
- ビデオコードフロー設定
- カメラ設定のコピー

日付 / 時刻

- 日付形式
- 時刻の同期
- 日付
- 時刻
- タイムゾーン
- サマータイム

ネットワーク

- 有線インターネット
- ワイヤレスインターネット
- カメラ無線ネットワーク
- カメラリピーター
 - カスケード関係
 - オートリピーター
- ネットワークサービス

デバイス診断

- カメラ診断
- デバイス診断

アカウント / APP

- アプリのダウンロード
- パスワードの変更

ストレージ設定

- ストレージタイプ
- モデル
- 保存状態
- ストレージ容量
- 使用済み容量
- 空き容量
- ファイルシステムのバージョン

出荷時設定

- 工場時の設定を復元

システム設定 ▶ 一般設定

> 一般設定

言語

言語を選択します。

ディスプレイ解像度

- ☐ モニター(本機)の場合：1280×600に自動調整
- ☐ テレビモニターなどに映し出す場合：テレビにあった解像度を選択します。
※ テレビモニターは1080P以上の解像度のものをご準備ください。

音声出力方式

- ☐ HDMI：テレビモニター(HDMI接続)などから音声出力
- ☐ Speaker：モニター(本機)から音声出力
- ☐ HDMI + Speaker：テレビモニター(HDMI接続)とモニター(本機)両方から音声出力。

☐ OFF：音声を出力しない。

音量

スライドして音量を調整します。

NVR 警報音

- ☐ ON
 - ☐ OFF
- 動体を検知すると、モニターより警報を鳴らします。

自動ロック

- ☐ OFF ☐ 30秒 ☐ 1分 ☐ 5分 ☐ 10分

デバイス名

モニターに名前をつけることができます。

> 一般

ファームウェアのアップグレード

- ☐ オンラインアップグレード：
モニターがインターネットにつながっている場合、最新バージョンが存在するときのみ実行可能です。
- ☐ USBアップグレード：
(株)水鏡より配布する最新バージョンをUSBメモリーにコピーし本機のUSBポートに挿して実行します。

※USBポートは1つのため、USBメモリーとマウスを同時に使用できません。
同時に使用されたい場合は、USBポートを増やすことができるUSB ハブを別途ご準備ください。

システム設定 ▶ カメラ設定

カメラ設定	録画モード	検知警報	警報方式
(CH1)チャンネル1	☒ 常時録画	ON	警報ランプ
(CH2)チャンネル2	☒ 常時録画	ON	アラーム音
(CH3)チャンネル3	カメラの名称変更		
(CH4)チャンネル4			カメラの削除
(CH5)チャンネル5			
(CH6)チャンネル6			
(CH7)チャンネル7			
(CH8)チャンネル8			
(CH9)チャンネル9			
(CH10)チャンネル10			

☒ アップグレード (+)

録画モード

- ☐ 常時録画：24 時間連続で録画をします。
- ☐ 検知録画：動体を検知した際録画をします。
- ☐ カスタマイズ記録：曜日、時間、常時録画、検知録画の組合せでカスタマイズ。

- ☐ 録音：音声も一緒に保存します。

検知警報

- ☐ 検出エリア設定：赤の枠が付いた範囲が検出対象となります。

- ☐ 感度：より高い ← → より低い
画面のわずかな動きで検知 画面内の人、車動くものを検知

※ 感度が低い場合、検知が少なくなり、通知回数も減ります。
カメラの設定場所、使用シーンにより、使い分けてください。

- ☐ AI検出：人型検出
人と判断された場合に検知されます。

- ☐ 人型検出フレーム：AI検出された「人」にフレームを表示します。

カメラ警報音

- (検知警報：ONで設定可)
カメラより、警報音を鳴らします。

スポットライト警報

- (検知警報：ONで設定可)
検知した際、白色LEDが点滅し、不審者を威嚇します。
昼夜問わず点滅します。

システム設定 ▶ カメラ設定

プッシュ通知

(検知警報：ONで設定可)

検知した際、APP（スマートフォンやタブレット）にプッシュ通知します。

- ☐ APP
- ☐ Email（日本未対応）
- ☐ 全画面表示 検知した際、検知したカメラのみ表示

検知期間

(検知警報：ONで設定可)

- ☐ 終日検出
- ☐ 8:00～20:00
- ☐ 20:00～8:00
- ☐ カスタム設定

カメラの追加

カメラの追加

モニターとカメラをペアリングさせます。
カメラの増設などの場合に使用します。
(30ページ参照)

カメラのファームウェアアップグレード

カメラのアップグレード

- ☐ オンラインアップグレード：
モニターがインターネットにつながっている場合、
最新バージョンが存在するときのみ、実行可能です。

<戻る

カメラのアップグレード	チャンネル	バージョン番号	ステータス	進捗	オンラインアップグレード
☒	チャンネル 1	4.9.81.573032			USBアップグレード
☒	チャンネル 2	5.4.11.873053			アップグレード解除

再検索

- ①アップグレードを行うカメラを選択（先頭にチェックが入る）
- ②[オンラインアップグレード] をクリックします。
- ③「アップグレードされます。続けますか？」の問いに答えます。
- ④ステータス欄に「アップグレード成功！」と表示されたら完了です。

- ☐ USBアップグレード：
（株水鏡より配布する最新バージョンをUSBメモリーにコピーし、
本機のUSBポートに挿して実行します。

※ USBポートは1 つのため、USBメモリーとマウスは同時に使用できません。
同時に使用されたい場合は、USBポートを増やすことができるUSB ハブを
別途ご準備ください。

システム設定 ▶ ネットワーク

□モニターをインターネットにつなぐ（Wi-Fi）

ネットワーク設定

有線インターネット

ワイヤレスインターネット

カメラ無線ネットワーク

カメラリピーター

ネットワークサービス

有効

Wi-Fiネットワークを選択

IPアドレス

プライマリDNS

セカンダリDNS

WiFi信号

WiFi状態

通信状態：

- ①[ワイヤレスインターネット] のタブを選択
- ②[有効] を ON
- ③「Wi-Fi ネットワークを選択」をクリック
- ④Wi-Fi を選択、パスワードを入力（14 ページを参照）

□モニターをインターネットにつなぐ（有線）

- ①モニターとルーターを LAN ケーブルでつなぎます。



ワンポイント

モニターをインターネットにつなぐことで、〇〇ができます！

- スマートフォンで外出先でも見るができます。
- 映像を他者にシェアして複数人でモニタリングできます。
- パソコンでも映像を見るができます。
- カメラやモニターのバージョンアップをオンラインでできます。

システム設定 ▶ ネットワーク

□オートリピーター（中継機能）を使う

ネットワーク設定

有線インターネット

ワイヤレスインターネット

カメラ無線ネットワーク

カメラリピーター

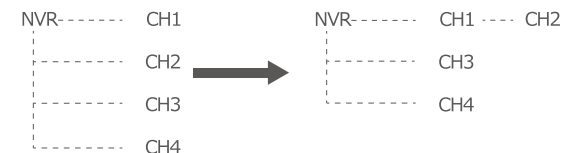
ネットワークサービス

カスケード関係

カスケードリレーショナルトポロジ図

オートリピーター

- ①[カメラリピーター] のタブを選択
- ②[カスケードリレーショナルトポロジ図] をクリック
ネットワークの構造がわかります。
- ③[連結モード] を [オートリピーター] に変更し、[保存する]



ワンポイント

カメラリピーターとは

モニターから離れたカメラの電波が不安定な場合でも、モニターに近いカメラを中継することで、モニターとカメラ間の通信を安定させることができます。オートリピーター機能で、自動で最適な経路を見つけます。

システム設定 ▶ ストレージ設定 / 出荷時設定

□ストレージの情報表示とフォーマット

※ TFCARDとはmicroSDを意味します。

<戻る
ストレージ設定
再フォーマット

ストレージタイプ
TFCARD

保存状態
フォーマット済み

ストレージ容量
29GB

使用済み容量
2GB

空き容量
27GB

ファイルシステムのバージョン
1.0.0.1

フォーマットを実行すると、録画データは完全に消去され、元に戻すことはできません。フォーマット前に、必要なデータのバックアップを必ず行ってください。

microSDカードについて（10ページ参照）

□設定のリセット

出荷時設定

工場出荷時の設定を復元
☐ 追加カメラ削除

工場出荷時に設定を戻したい場合にご使用ください。
[追加カメラ削除]にチェックを入れると、カメラの情報も削除されます。

カメラを増設する（カメラの追加）

□カメラの増設やペアリングのやり直しが必要なときに

カメラの追加

⊕ アップグレード ⊕

カメラの追加

●カメラとモニターを無線でつなぐ場合

<戻る
カメラの電源
<手動追加

本機から1m以内でカメラの電源を入れ、リセットボタンを5秒長押しします。LANケーブルを使用する場合は、本機につないでください。

次へ

- ①カメラの電源を入れ、リセットボタンを5秒間長押し
- ②[次へ]
- ③「接続を開始します」とモニターから聞こえます。
- ④ステータス欄に「接続成功」と表示されます。
- ⑤[次へ]

<戻る
カメラを探しています...

チャンネル	デバイス名	IPアドレス	ステータス
(CH1)チャンネル1	5323-W6-Q	XXXXXXXXXX	接続成功

次へ

カメラのライブ画面を表示

ペアリングされたカメラのリアルタイム画面が表示されていることを確認し「次へ」をクリックします。カメラのリアルタイム画面が見えない場合は「再検索」をクリックしてください。

次へ
再検索

カメラの追加（ペアリング）が正常に行われたものが映っています。

- ⑥[次へ]
- ⑦カメラ設定の画面に切替わったら、[戻る][戻る]で映像を確認

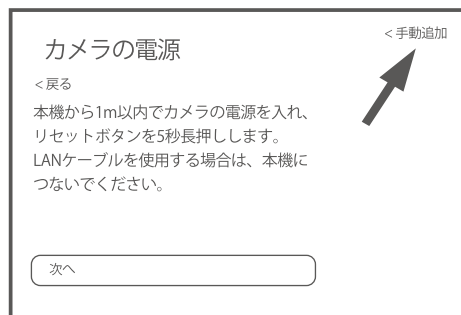
カメラを増設する（カメラの追加）

□カメラの増設やペアリングのやり直しが必要なときに

カメラの追加

アップグレード (+) カメラの追加

●カメラと本機を LAN ケーブルでつなぐ場合



①[手動追加] をクリック

②カメラとモニターを LAN ケーブルでつなぎます。

③カメラの電源を入れ、リセットボタンを 5 秒間長押し

④つないだカメラが自動で検索され、上段に表示されます。表示されない場合は[探す]をクリックします。

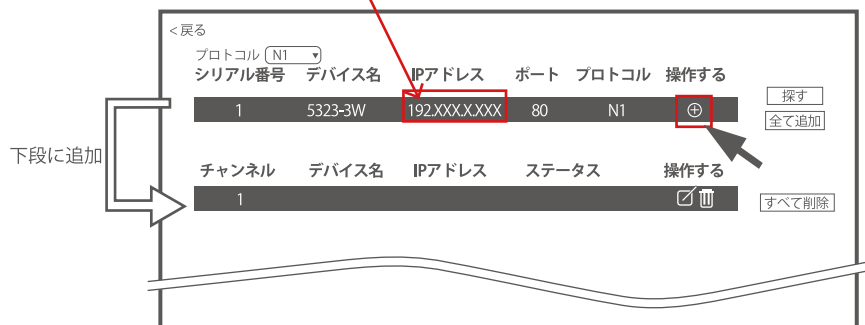
⑤対象のカメラを選択

⑥[操作する] の ⊕ ボタンで追加。(下段に追加されます)

⑦ステータス欄に「接続成功」と表示されます。

⑧[戻る]

- ・IP アドレス 192.XX → LAN
- ・IP アドレス 172.XX → 無線カメラ



※ LANポートは 1 つのため、複数のカメラをつなげる場合には、LAN ハブが必要となります。POEもご利用いただけます。お問合せ下さい。

暗視モードを変更する

※ センサーライト（白色LED）は対応機種のみ

□暗視モードを変更する（カラー映像 / モノクロ映像 / センサーライト）



①変更したいカメラの映像の上にマウスポインターを移動します。

② [設定] [暗視] [拡大] [縮小] こちらのメニューが表示されます。

③ [暗視] 画像設定をクリック

暗視モード

□赤外線暗視

- ▷昼間：カラー映像
- ▷夜間：自動で赤外線が起動、モノクロ映像
- ▷白色LED：点灯なし
- ▷動体検知：白色LED点灯なし

□暗視オフ

- ▷昼間：カラー映像
- ▷夜間：カラー映像（暗いまま）
- ▷白色LED：点灯なし

□赤外線は常に有効

- ▷昼間：赤外線でモノクロ映像
- ▷夜間：赤外線でモノクロ映像
- ▷白色LED：点灯なし

□フルカラー

- ▷昼間：カラー映像
- ▷夜間：カラー映像
- ▷白色LED：夜間ずっと点灯

□スマートナイトビジョン

- ▷昼間：カラー映像
- ▷夜間：自動で赤外線が起動、モノクロ映像
- ▷白色LED：動体検知で点灯、カラー映像



PTZコントロール

※ PTZ対応機種のみ

□ 左右上下にカメラレンズを動かす



- ① PTZ 対応カメラの映像の上にマウスポインターを移動します。
- ② こちらのメニューが表示されます。
- ③ PTZ をクリック

PTZ コントローラー

PTZコントロール X

速度 1 ~ 8

フォーカス 未対応

ズーム 光学ズームは未対応
前画面のデジタルズーム をご利用ください。

巡回 10秒ごとに約30°水平に移動し監視します。
往復約2分で4時間経つと終了します。

移動追跡

PTZ 調整

プリセット

移動追跡

動いているものを追いかけます。

PTZ 調整

プリセット

レンズ位置を移動し、[+] で記憶させ、[Go to] でセットした位置にワンタッチで移動します。

録画映像を見る

□ 録画映像を見る（ビデオ再生モード）



- ① ビデオ再生をクリック
- ② 再生モードを [ビデオ再生] にする
- ③ 表示させたい日付を選択（青い点が録画のある日）
- ④ 表示させたいチャンネル（カメラ）にチェック
※同時に4台のカメラの録画映像を見ることができます。
- ⑤ タイムラインの見たい時刻をクリック

②再生モード

③日付選択

④チャンネル選択

ビデオ再生 スマート再生

今日 2025-03-26

(CH1) チャンネル1 ☒

(CH2) チャンネル2 ☒

(CH3) チャンネル3 ☒

(CH4) チャンネル4 ☐

(CH5) チャンネル5 ☐

(CH6) チャンネル6 ☐

(CH7) チャンネル7 ☐

(CH8) チャンネル8 ☐

(CH9) チャンネル9 ☐

(CH10) チャンネル10 ☐

バックアップ

ライブ画面に戻る

タイムラインのスパン

映像の時刻

再生ヘッド

早送り

2025/03/26 16:15:25

(24時間 1時間 30分)

検知録画 常時録画

タイムライン

オレンジ：検知あり

白：常時録画

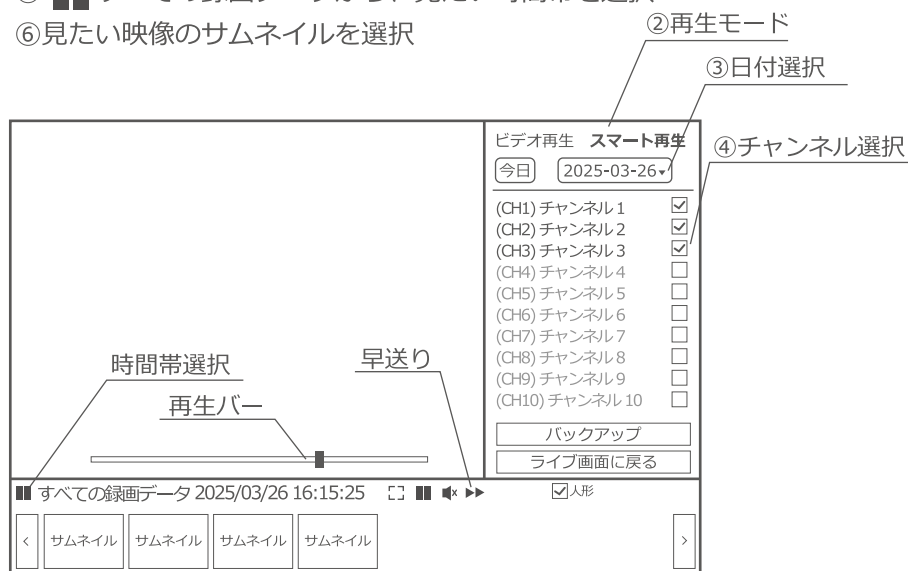
録画映像を見る

□録画映像を見る（スマート再生モード）

※スマート検出で人型を ON にしたときに、人と判断され録画されたものだけが表示されています。サムネイルから動画ファイルを選択します。



- ① ビデオ再生をクリック
- ②再生モードを [スマート再生] にする
- ③表示させたい日付を選択（青い点が録画のある日）
- ④表示させたいチャンネル（カメラ）にチェック
- ⑤ すべての録画データから、見たい時間帯を選択
- ⑥見たい映像のサムネイルを選択



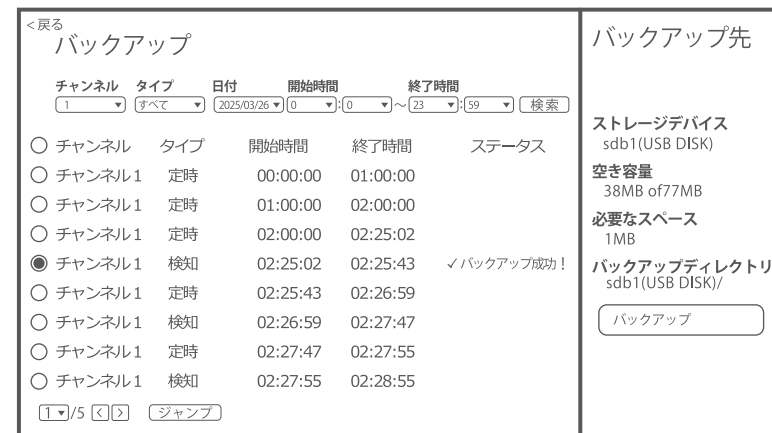
録画映像をダウンロードする

□録画映像をダウンロード、USB メモリーにダウンロードする

※必要な映像を選択して、ダウンロードできます。



- ① ビデオ再生をクリック
- ②再生モードを [ビデオ再生] または [スマート再生] にする。
- ③[バックアップ] をクリック
- ④[チャンネル][タイプ][日付][開始時刻][終了時刻] を設定し [検索]
- ⑤保存したい動画を選択（先頭にチェックが入る）
- ⑥USB メモリーをモニターに挿します。※
- ⑦[バックアップ]
- ⑧ステータス欄に「バックアップ成功！」と表示されます。



※USBポートは1つのため、USBメモリーとマウスは同時に使用できません。同時に使用されたい場合は、USBポートを増やすことができるUSB ハブを別途ご準備ください。

スマートフォンからカメラ映像を見る

 インターネットにつなげることで、スマートフォンからの遠隔操作が可能になります。

<手順>

- モニター
スマホ
- 1 モニターにカメラを追加（ペアリング）→映像確認（30 ページ参照）
 - 2 モニターの Wi-Fi 設定（27 ページ参照）
 - 3 スマートフォンやタブレットに無料アプリをダウンロード
 - 4 アカウントの登録
 - 5 デバイス追加（モニターの P2P QR コードをスキャン）

1. スマートフォンやタブレットに無料アプリをダウンロード

APP StoreまたはGoogle Playにて「EseeCloud」と検索するか、以下のQRコードをスキャンして、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールします。



ios /Android共通



EseeCloud



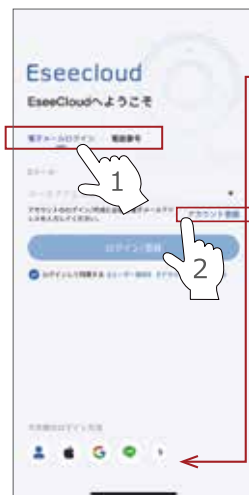
動画によるご説明

※システム要件

IOS9.0以降が必要です。

Androidは5.1以降が必要です。

2. アカウントの作成



① Eメールか電話番号が選択します。

Googleアカウント、LINEをお使いの場合は、そのアカウントを利用することができます。

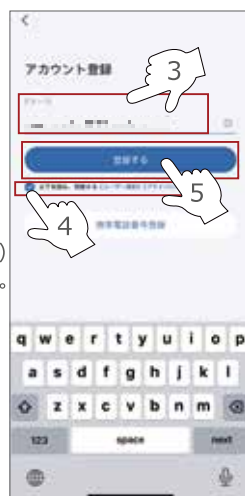
②[アカウント登録]をタップします。

③Eメールまたは電話番号を入力します。

④ユーザー規約（プライバシーポリシー）をお読みいただき、チェックを入れます。

⑤[登録する]をタップします。

※今後、パソコンでも視聴予定の場合は、Eメールまたは電話番号でご登録ください。



スマートフォンからカメラ映像を見る



⑥赤い点を通りながら、テニスボールをラケットの上に置きます。

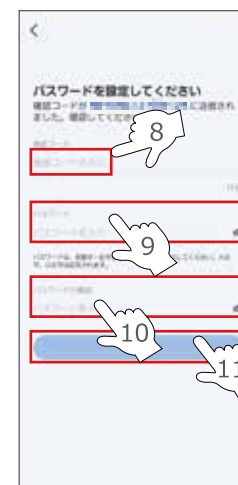
⑦成功すると、登録したメールアドレスまたは電話番号に6桁の認証コードが届きます。

※認証作業（テニスボール）は1日4回までです。
それ以上はロックがかかります。
次の日以降に作業をしてください。

※5分経っても認証コードが届かない場合、
以下の原因が考えられます。ご確認ください。

- ・メールアドレスが違う
- ・電話番号が違う
- ・迷惑メールフォルダに入っている

※認証がどうしてもうまく行かない場合は、
LINEやGoogleアカウントでのログインをお勧めします。



⑧送られてきた認証コードを入力します。

⑨パスワードを入力します。（英数6桁以上の任意のパスワード）

⑩確認のため、もう1度パスワードを入力します。

⑪[OK]をタップします。

⑫登録が完了すると、デバイスリスト画面に移動します。

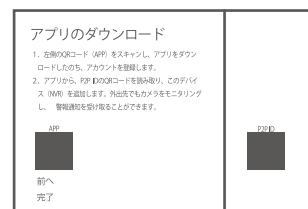
スマートフォンからカメラ映像を見る

3. デバイス（モニター）の追加

- ①デバイスリスト画面の「+」ボタンの「スキャン」をタップ
②[スキャンを開始]をタップ
③モニターにP2Pコードを表示させ、スマホをかざします。



P2Pコードの表示
[システム設定] - [アカウント/APP]



- ④モニターに名前を付けます。
名前は後から変更可能です。



スマートフォンからカメラ映像を見る



- ⑤クラウドストレージ（有料）の案内です。
クラウドストレージを利用されない場合は、右上の「x」をタップします。

※ クラウドストレージを利用されない場合
クラウドストレージの案内画面が表示されましたら、よくお読みになり、「体験しないで」「スキップ」「体験を放棄」などと書かれたところをタップします。

4. 映像を確認

- ①デバイスリスト画面に切替わったら、再生ボタンをタップ

※アイコン説明は、本書後半をご覧ください。



1 / 複数画面 切替え：ダブルタップ

画面分割数の選択

カメラが接続されていないチャンネル

通話（双方向交互通話）

録画映像再生

※スマートフォンでリアルタイムでモニタリングする際、サーバーの混雑を防ぐため、最大10分ほどで接続が自動的に切れる仕様となっています。再生ボタンをタップしていただくことでモニタリングを再開できます。

複数のスマートフォンで映像を見る（デバイスの共有）

複数のスマートフォンでカメラ映像を見るには・・・

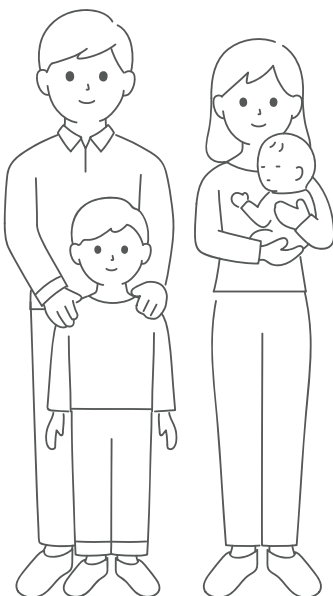
<条件>

- 単体でカメラを使用している場合、Wi-Fi 接続する必要があります。
- モニターを使用している場合、モニター内で Wi-Fi の設定をする必要があります。

<方法>

共有方法は3種類

- Bさん：Aさんと同じアカウントを利用する
- Bさんのアカウント：メールアドレスか電話番号の場合（次ページ）
※44ページのQRコードを利用した手順でも共有可能です
- Bさんのアカウント：LINE アカウントなどを利用の場合（44ページ）



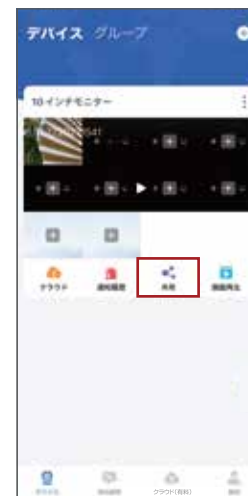
管理者Aさん Bさん

複数のスマートフォンで映像を見る（デバイスの共有）

【Bさんのアカウント：メールアドレスか電話番号の場合】

管理者 A さん

①[共有]をタップ



②Bさんに与える権限を選択



③Bさんのアカウントのメールアドレスまたは電話番号を入力し、[共有の招待メールを送信]



B さん

④[情報]をタップ



⑤[シェア]をタップ



⑥[他の人から]をタップ



複数のスマートフォンで映像を見る（デバイスの共有）

【Bさんのアカウント：メールアドレスか電話番号の場合】 つづき

Bさん

- ⑦Aさんから届いた招待状を確認し[受け入れる]をタップ
⑧デバイス名表記に変わります。
⑨デバイスリスト画面に戻り、共有されたことを確認



複数のスマートフォンで映像を見る（デバイスの共有）

【Bさんのアカウント：LINE アカウントなどを利用の場合（QRコードによる共有）】

管理者 A さん

- ①[共有]をタップ
②Bさんに与える権限を選択
③[QRコードの共有]をタップ



- ④共有用のQRコードが生成されます。[他の人に送る]または[アルバムに保存]

Bさん

- ⑤[カメラ管理者からのデバイス共有]をタップ
⑥[スキャンして追加]をタップし、④のQRコードをスキャンします。



EseeCloud アイコン操作説明

デバイスリスト画面（カメラ選択）

アカウントにログインして、すぐの画面です。

見たいデバイス（カメラ/モニター）の再生ボタンを押して、LIVE映像を確認できます。



モニタリング画面（LIVE映像）

デバイスリストより、再生ボタンをタップした画面です。

現在の映像を確認することができます。



検知履歴画面

検知があったタイミングで履歴を残します。

戻る

モニタリング画面に戻る

デバイス名

カメラ/NVRの名称

各種設定

カメラ撮影

再生映像の静止画を
キャプチャ
* スマホ内にjpeg形式で保存

通知履歴

録画映像を見る
保存データ全編
* microSDカード/NVR/
クラウドストレージの
いずれかの保存データ
(次ページ参照)

デバイスの切替

複数のカメラが
ある場合

映像画面

日付選択

イベント履歴は2〜7日間 ※1
※1 クラウドストレージの契約
状況などにより、通知履歴内で
見られる動画の長さが違います。

サムネイル画像

・microSDなどに保存して
いない場合は静止画 ※1
・microSDなどに保存している
場合は冒頭10〜30秒の動画 ※2

もっと長く動画を見る場合は
[録画再生]より、視聴可能

※1 microSDカードなどに録画をしていない場合、2025年4月現在、静止画（サムネイル）を見ることができませんが、今後、仕様変更で閲覧できなくなる可能性があります。
ぜひ、microSDカードのご準備、またはクラウドストレージのご利用をお願いします。

※2 クラウドストレージの契約状況などにより、通知履歴内で見られる動画の長さが違います。

録画再生画面

録画された動画を検索・視聴する画面です。保存されている映像の全編を見ることができます。
microSDカード、NVR、クラウドストレージのいずれかに録画保存されている場合に 표시됩니다。

戻る

デバイスリスト画面に戻る

デバイス名

カメラの名称

各種設定

カメラID、時刻、電池残量

電池残量 白：外部電源なし
黄：充電中
緑：満充電
※リチウムイオン電池内蔵カメラの場合

映像画面

指で拡大縮小

録画映像

ダブルタップなどで
拡大可能

全画面表示

録画媒体の切替

録画データの保存場所
ローカル：microSD または HDD

音声

映像の音声をON/OFF

ビデオカメラ

任意のタイミングで
再生映像を
動画ファイルで残す
* スマホ内にmp4形式で保存

日付

スクリーンショット

再生映像の静止画を
キャプチャ
* スマホ内にjpeg形式で保存

タイムライン

青いラインに合わせた時刻の
映像が映し出されます
薄いオレンジ：常時録画
濃いオレンジ：画面の動きあり
タイムラインを指で拡大可能

ライブビュー

現在の映像を見る
録画映像/ライブ映像 切替

ダウンロード

再生中のデータをダウンロード
(次画面で、違う時刻のデータも選択可能)

ダウンロードしたい画像を選択し
ダウンロードを開始します。



困ったとき

モニターの表示

モニターの画面にすべてが収まっていない

- モニターに合った解像度に変更してください。
➡ (P.24)

ネットワーク

Wi-Fiルーターにつなげられない

- パスワードを確認してください。ルーターには「暗号化キー」「PASSKEY」と書かれています。
➡ (P.27)

時刻

時刻がズレてしまう

- モニターをインターネットにつながらない場合は、時刻サーバーとの同期ができないため、ズレが生じます。手動にて修正してください。
[システム設定]ー[日付/時刻]
➡ (P.15)

録画映像

録画映像をダウンロードするため、USBメモリーを挿したいが、ポートがありません

- マウスでUSBポートを使用しているため使用できません。複数のUSBポートが必要な場合は「USB HUB (ハブ)」をご用意ください。

microSDカードをパソコンに挿したが見られない

- microSDカードを直接Windowsで視聴する場合、TSファイルという動画ファイルになっています。Windowsの「メディアプレイヤー」で視聴できない場合があります。「VCL media player」などをダウンロードし、お試しください。

カメラ映像

カメラ映像が出てこない

- 何らかの原因でペアリングが外れた可能性があります。ペアリング（カメラの追加）を再度行ってください。まずは、カメラのリセットを行う前に、追加をお試しください。それでも、つながらない場合は、カメラをリセットしてから追加してください。
➡ (P.30)

無線到達距離（300m）を満たしているのに受信できない

- 300mはあくまで目安であり、障害物等のない「見通し」での距離になります。
- カメラやモニターの周囲に障害物や反射物などがありますか。障害物の材質（コンクリート・鉄筋・木材等）によっても到達距離は変動します。
- オートリピータ機能（自動中継機能）でつながる可能性があります。
➡ (P.28)

室内から外を撮影しているが、夜間、うまく撮影できない

- 室内から外を映す場合、赤外線が窓ガラスに反射してしまいます。暗視モードは、赤外線が起動しない「オフ」に設定を変更してください。
➡ (P.32)

夜間、雪が降ったような映像になる

- 赤外線ライトが空気中のほこりやチリなどに反射するため雪のように映ります。故障ではありません。

スマートフォンアプリ

スマートフォンアプリとモニターがつかない

- モニターをインターネットにつなぐ必要があります。
➡ (P.27)

検知した通知がスマートフォンに届きません

- モニター内設定でプッシュ通知（APP）をONにしてください。（カメラごとに設定）
➡ (P.26)
- アプリ内[設定]ー[プッシュ通知設定]をONにしてください。

製品仕様（モニター）

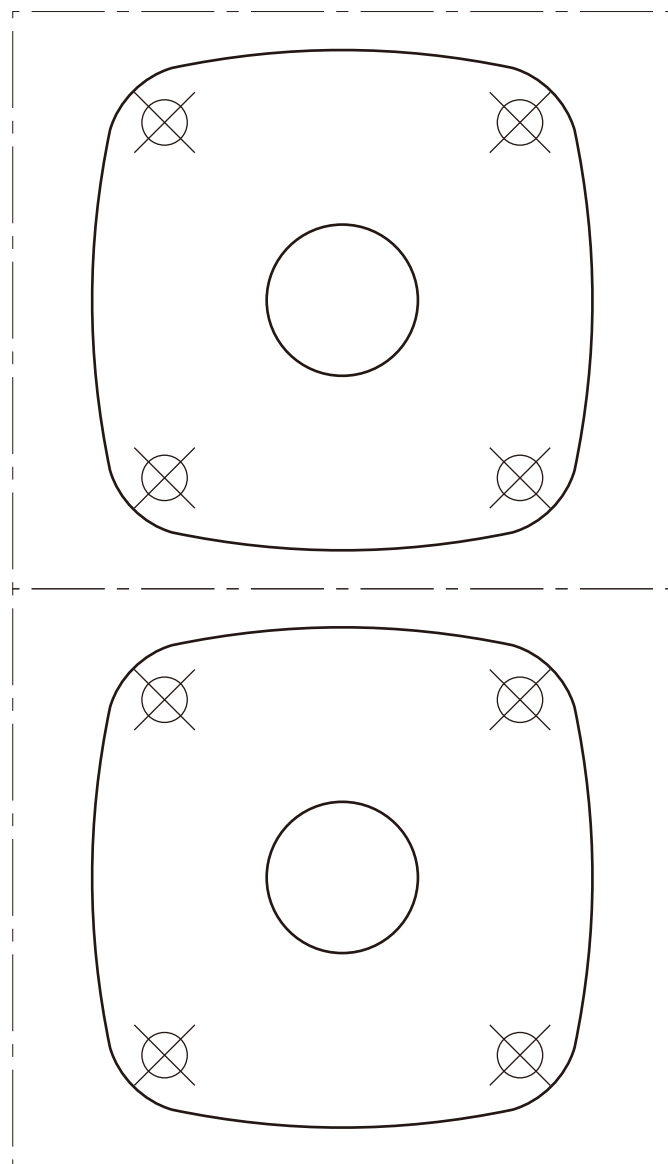
型番	TBC-M10	
名称	セキュリティモニター	
映像音声入力	ビデオ入力	最大10局
	ビデオ出力	解像度 1局：1024×768、1280×1024、1440×900、1920×1080
ビデオ圧縮方式	H.264 / H.265	
音声圧縮方式	G711A/AAC	
解像度	ビデオ解像度	800万画素 500万画素 300万画素 1080P 720P
ディスプレイ	同時再生	4局400万画素 2局500万画素 1局800万画素
録画管理	TFT-LCD	10インチ ディスプレイ解像度 1024×600
	録画モード	常時録画、検知録画、カスタマイズ記録
	再生モード	1倍速、2倍速、4倍速、8倍速
保存	バックアップ	USBメモリーに録画データをバックアップ
	microSDカード	最大512GB対応（付属品ではありません）
	ハードディスク	Serial ATA 最大容量2TB対応（標準装備ではありません）
	クラウドストレージ	アプリ内課金（クラウドストレージを利用する場合のみ有料）
通信	無線接続	IEEE802.11b/g/n 2.4GHz / 5GHz
	有線接続	RJ45 10Mbps～100Mbps LANケーブル最長100m対応
インターフェイス	LANポート	RJ45×1
	USBポート	USB2.0×1
	HDMIポート	HDMI出力×1
	マイク	あり
	スピーカー	あり
	リセット	あり
	スリープモードスイッチ	あり
その他	電源（長さ）	DC 12V / 3A（約3.3m）
	動作温度	-10℃～45℃
	サイズ / 重量	170mm×265mm×30mm / 775g

製品仕様（カメラ）

型番	TBC-SC300	
名称	セキュリティカメラ	
基本データ	画素数	300万画素
	イメージセンサー	1/3" CMOSセンサー
	焦点距離	4mm
	昼夜切替	ICR(赤外線カットフィルター解除機能) 自動/手動切替
	デジタルノイズリダクション	3DNR (3Dデジタルノイズリダクション)
	ダイナミックレンジ	DWDR (デジタルワイドダイナミックレンジ)
	逆光補正	対応
	画角	水平76.2° 垂直41.3° 対角90°
	PTZ	—
	LED	デュアルLED (IRLED×4 白色LED×4)
	赤外線照射距離	20m (環境によって異なる)
	白色LED照射距離	15m (環境によって異なる)
圧縮方式	ビデオ圧縮方式	H.264 / H.265
	音声圧縮方式	AAC / G711
画像	解像度	メインストリーム：2304×1296 サブストリーム：640×360
	フレームレート	15fps
	画像反転	水平 / 垂直
	プライバシーマスキング	対応
検知	スマートアラート	動体検知による警報
	動体検知範囲	70° 7m
	警報通知	プッシュ通知
通話	双方向通話	対応
保存	microSDカード	最大256GB対応 (NVRと接続の場合は、NVRに保存されます)
	クラウドストレージ	アプリ内課金 (クラウドストレージを利用する場合のみ有料)
端末	端末	ios / Android 専用無料アプリ EseeCloudダウンロード
	PC	Windows / Mac 専用無料アプリ EseeCloudダウンロード
通信	無線接続	IEEE802.1b / g / n 2.4GHz / 5GHz (見通し距離 300m)
	有線接続	RJ45 10Mbps～100Mbps LANケーブル最長100m対応
その他	電源 (ケーブル長)	DC 12V / 1A (約3m)
	サイズ / 重量	74mm×62mm×176mm / 225g
	動作温度	-20℃～50℃
	防塵防水等級	IP66

空白ページ

カメラ設置位置決め用紙



販売元

ELPA 朝日電器株式会社

輸入元

株式会社 水鏡
338-0812 埼玉県さいたま市桜区神田85-18

お問合せ

株式会社 水鏡

■ 電話

048-714-5030

受付時間 月～金曜日(年末年始・祝日などを除く) 10:00～17:00

■ メール

info@suikyo.co.jp

受付時間 24時間受付

回答時間 月～金曜日(年末年始・祝日などを除く) 10:00～17:00

■ LINE公式アカウント

<https://lin.ee/wmljR5Z>

受付時間 24時間受付

回答時間 月～金曜日(年末年始・祝日などを除く) 10:00～17:00

※チャット機能で、画像やメッセージを簡単に送受信できます。

お友達登録は
こちらから



使用方法がわからない、設定がわからない、つながらない、故障かな?と思われたら、まずは、お問合せください。

お問合せの際は以下についてお伝えください。

- ・ 型番
- ・ スマホの種類(例:iPhone12、Android)
- ・ エラーメッセージ
- ・ 状況のわかる動画や画像 など